

年 組 名前：

北杜で日本山岳サミット

エコパーク登録10年

北杜市などは同市内で、山岳保全に関する課題を共有し、資源を将来に引き継ぐ仕組みづくりを目指す「第2回日本山岳保全サミット」を開いている。南アルプスの国連教育科学文化機関（ユネスコ）の生物圏保存地域「エコパーク」登録から10年を迎えたことを記念した事業の一環。25日は登山地図アプリ「YAMAP」などを手がける「ヤママップ」（福岡県）の春山慶彦代表による講演会や、市在住の登山家花谷泰広さんとの対談があった。

〈木場菜摘〉

資源保全へ意見交わす



山と流域の保全について講演する「ヤママップ」の春山慶彦代表 北杜・甲斐駒センターせせらぎ

市内外の登山愛好家ら約250人が参加。春山さんはヤママップが公開した、山の水源から海までの水の流れを記した地図について説明。山を保全することで山が水を蓄える力が増し、防災につながると解説した上で「下流域で暮らす人も、水源となる山の保全に関わる必要がある」と訴えた。

対談では、山や流域の保全について先行事例に触れながら2人が意見交換。参加者の「広い流域を保全するために、どのように人をつなぎ、当事者意識を持たせたらよいか」との質問に対し、春山さんは「流域が育む食材や料理をPRしてはどうか」、花谷さんは「顔の見える交流を地道につなぐ必要がある」とアドバイスした。

サミットは24、26日に開催。24日は全国で山岳保全活動を行う団体の活動報告があり、26日は同市の石空川溪谷を歩くトレッキングツアーなどを開く。

(2024年8月26日付 山梨日日新聞 18面)

問1

北杜市が、「日本山岳保全サミット」を開く目的を教えてください。

.....

問2

春山さんは山を保全することが、何につながると話しましたか。

.....

問3

対談の中で、参加者からの質問に対し、二人の回答を教えてください。

春山さん:

花谷さん: